

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/5】

この試合のプレー集計

B-1決定

茨城県 6

3	—	4
1	—	1
1	—	2
1	—	6

13 神奈川県

PSO

審判： 中村 友美
齊藤 誠

茨城県	18	SH数	23	神奈川県
	0	速攻数	10	
	3	ST・SB	11	
	3	SH・P誘発アシスト	11	
	24%	GK阻止率	54%	
	4	EX反則数	5	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

攻撃力では神奈川がややリードしているだけに、どれだけ茨城がしぶとく守ってベテラン勢の集中力を見せるか、後半勝負が予想されるだけにお互いに厳しい展開が予想される一戦。

1P

神奈川が開始早々、茨城のディフェンスが整わない段階で右サイドから**⑤**西山が決めて神奈川が先制。茨城も直後にセンター攻撃から**⑥**池田が決めて同点。その後、茨城の攻撃がセンター頼みのやや単調になったところを神奈川がしっかり突いて、速攻で2点目（**③**鈴木）、ペナルティで3点目（**⑤**西山）をあげてゲームを支配する。茨城もシュート力のある**⑦**行天が6mシュートと、ピリオド最後には2019年茨城国体の立役者**③**齊藤がペナルティを誘発し、**⑦**行天が決めて点差を詰めた。攻撃力がある神奈川だが、前線選手が攻撃にやや強引なプレーが目立ち、オフENSE反則でやや空回り。そこを茨城のベテラン勢につけ込まれて、接戦となった（茨城3-4神奈川）。

2P

神奈川の強引プレーは続き、その場面からの茨城の攻撃という展開が続き、双方がっぷり四つ。ただ、ベテラン勢の多い茨城としては、こうしたターンオーバーの連続はかなり響いている状況だ。神奈川のオフENSE反則からの退水誘発でタイムアウトを取って勝負をかけ、**⑥**池田が決めて同点（茨城4-4神奈川）。徐々に茨城は疲労の色が見え、敵陣深く攻めることがなかなかできず、**③**齊藤のミドルシュートが外れたところで泳げる神奈川がカウンター攻撃。それをも**⑪**栢が決めて、このピリオド1-1のイーブン。前半は茨城4-5神奈川の1点差で前半を折り返した。

3P

勝負のかかったこのピリオド、泳ぎで勝る神奈川が徐々に攻撃のプレッシャーが強くなり、茨城はやや防戦状態に。それでも茨城は全員で守り切る場面で何とか乗り切ることが増え、逆に攻撃にまで余力がない状態で試合は完全に神奈川ペース。特に神奈川**⑤**西山へのマークがかなり甘くなり、シュート力のある**⑤**西山に振り回される状態となった。茨城の攻撃は手詰まり状態でオーバータイム。そこを神奈川が突き、**⑤**西山が右サイドから決めて6点目。対する茨城も神奈川のパスミスからシュート力のある**③**齊藤の6mシュートで懸命に粘るが、ピリオド最後にはシュートミスから神奈川が全力で攻め上がり、センターで**⑪**栢が退水を奪って自身が決めて、茨城5-7神奈川で第3ピリオド終了。

4P

茨城は完全に動けなくなり、攻撃時もスタンディングしたままでボールが回らず、神奈川が圧倒。**⑤**西山が次々にゴールを決めて（このピリオド4得点）、最終的には茨城6-13神奈川で、神奈川がBブロック1位を決めた。